

平成17年度

帯広市
文化賞
文化奨励賞

帯広市教育委員会

帯広市文化賞受賞者



たか い み ち こ
高 井 美 智 子

(70歳)

《受賞理由》

氏は、若くから伝統工芸である押絵に関心をもち、昭和41年帯広の押絵サークル「からぎぬ会」に入会后、日々研鑽を積み、平成2年には「いざよひ会」（東京）の免状を取得、日本でも数少ない押絵作家として、古来より伝えられてきた技術を守りながら活動を続けております。

その作品は羽子板や屏風、色紙や額、短冊など多種に及び、これまで道内外で優れた作品を発表され、その卓越した技能や色彩感覚は、斯界から高い評価を受けております。

さらには、後進の育成にも情熱を注がれており、昭和47年から30年以上に亘り押絵教室を主宰され、押絵を後世に伝えていくため、その普及と発展に尽力されております。

このような氏の永年にわたる活動は、地域文化の向上発展に大きく寄与するものであることから、帯広市文化賞を贈り顕彰するものであります。

《略 歴》

- | | |
|-------|---|
| 昭和41年 | 帯広の押絵サークル「からぎぬ会」に入会 |
| 昭和47年 | 押絵高井教室を開設 |
| 昭和53年 | 市内で作品展を開催
(今日まで市内で数多くの作品展を開催) |
| 昭和63年 | 東京の押絵「いざよひ会」に入会、京極琴山氏に師事 |
| 平成2年 | 「いざよひ会」の免状を取得し、号「周祥」を名乗る |
| 平成9年 | 三越札幌店で作品展を開催
(今日まで数回開催)
総合美術十勝協会会員 |
| 平成12年 | 藤丸百貨店創業百周年記念作品展を開催し、入場者
9,200人を記録 |
| 平成13年 | 吉徳創業290年記念「日本の人形展」(東京)に出品
特定非営利活動法人十勝文化会議十勝文化奨励賞受賞 |

帯広市文化奨励賞受賞者



いしだまさし
石田昌志

(57歳)

《受賞理由》

氏は、昭和43年劇団「扉」を設立し、数多くの公演を演出されるとともに、市内劇団の合同公演「十勝野」（昭和57年）や、市民参加による演劇「十勝伝説」（平成14年）など、さまざまな公演の演出を担当され、優れた演出技術と指導力は高く評価されております。「十勝伝説」は、翌年に札幌公演を成功させ、道民に地方発信の舞台芸術を提供しております。

また、帯広児童劇団の設立にも参画、毎年行われている公演の演出を手がけ、子どもたちの無限の可能性を引き出す指導を行っております。

さらには、北海道高等学校文化連盟十勝支部演劇では審査委員や講師を務めるとともに、十勝文化創造ネットワーク設立に参画、子どもから大人まで幅広く後進の育成にも尽力されております。

このような氏の永年にわたる活動は、地域文化の向上発展に寄与するとともに、今後の活動も大きく期待できるものであるため、帯広市文化奨励賞を贈り顕彰するものであります。

《略 歴》

- | | |
|-------|---|
| 昭和43年 | 劇団「扉」設立（代表） |
| 昭和47年 | 帯広市開基90年記念合同公演「赤い鳥の居る風景」（演出） |
| 昭和57年 | 帯広市開基100年記念合同公演「十勝野」（演出） |
| 昭和61年 | 北海道高等学校文化連盟十勝支部演劇大会（審査委員）
（平成6年まで計6回参加） |
| 昭和62年 | 北海道高等学校文化連盟十勝支部演劇ゼミナール（講師）
（平成3年まで計5回参加） |
| 昭和63年 | 帯広児童劇団設立に参画（指導講師）
（平成16年まで計18回の公演を演出） |
| 平成14年 | 帯広開拓120年記念協賛事業、市民参加による演劇
「十勝伝説」（演出） |
| 平成16年 | 十勝文化創造ネットワーク設立に参画（副代表） |